

## 第312回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 令和7年10月20日（月） 11：00～12：00

2 開催場所 エフエム栃木本社 会議室

3 委員の出席 委員総数 6人  
出席委員数 5人

(1) 出席委員の氏名 小笠原 伸（委員長）  
君島 理恵（副委員長）  
青木 敬信  
新井 啓泰  
宗像 信如

(2) 放送事業者側出席者 仲山 信之（代表取締役社長）  
岡本 明子（放送部長）  
渡辺 裕介（放送部長代理）

4 議題 (1) 番組の試聴及び意見交換  
(2) 次回開催日程について  
(3) その他

5 議事の概要

(1) 番組の試聴及び意見交換

栃木県日光市を拠点とするアイスホッケーのプロチーム「HC 栃木日光アイスバックス」が、前身の『日光精銅所アイスホッケー部』が 1925 年に創部されたことから、今年 100 周年を迎える。大きな節目となることを記念し、県民に「地域の誇り」としてのチームの歴史と未来を伝える番組としてオリジナル番組「100 年目のパック～HC 栃木日光アイスバックス創部 100 周年～」を企画・制作。

日光市を中心とする地域文化としてのアイスホッケーを深掘りし、競技に関わる「ひと」にもさまざまな角度からスポットを当てたものとなります。

事務局： 出演は渡辺裕介アナウンサーで、ちょうどホームゲームのある 23 日（祝日）の昼に放送としました。また、レディオベリーで 1999 年に放送した当時の特別番組の音声も各所で活用しています。

## 【 番組の試聴 】

委員：ハートフルでドラマチックな構成で、地元出身の渡辺アナの思い入れの強さが伝わり、改めてアイスホッケーに興味を持たせてくれた。ファンの生の声も多く、熱量や愛情が伝わる。他のスポーツチームも参考になる内容だったと思う。

委員：地元に根付いたチームを取り上げることは地元放送局として意義がある。チームと地域のよい繋がりだけでなく、苦労等も広くアピールできる。このようなチームが地元にあることが誇らしいと感じられる、レディオベリーらしい番組だと言える。

委員：インタビューが多く、過去の取材内容と現在の内容が入り混じり、時間軸や、誰が誰なのかが聞いていて分かりにくい。耳だけでは難しいので適度な補足が欲しい。チームの今後の展望についてもやや弱めに感じられた。

委員：アイスホッケーは地域が限られるスポーツなので全く知識がない人も多い中、パックを今川焼に例える表現は良かった。冒頭の淡々とした入り方も良い。OB選手の山本さんのインタビューは貴重で、また、セルジオ越後さんの話もとても良かった。

（以上）

### （2）次回開催日程について

次回の開催を 令和7年11月18日（月）とすることについて、全出席委員の了解を得た。

### （3）その他

特になし

### 6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日

番組スタッフと共有し、さらに番組の質の向上に努めることとしました。  
(令和7年10月23日)

### 7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日

- (1) 放送 10月26日（日）19時55分の「レディオベリーインフォメーション」内
- (2) 書面 本社事務所に備え置き
- (3) インターネット エフエム栃木ホームページ内

### 8 その他の参考事項

なし